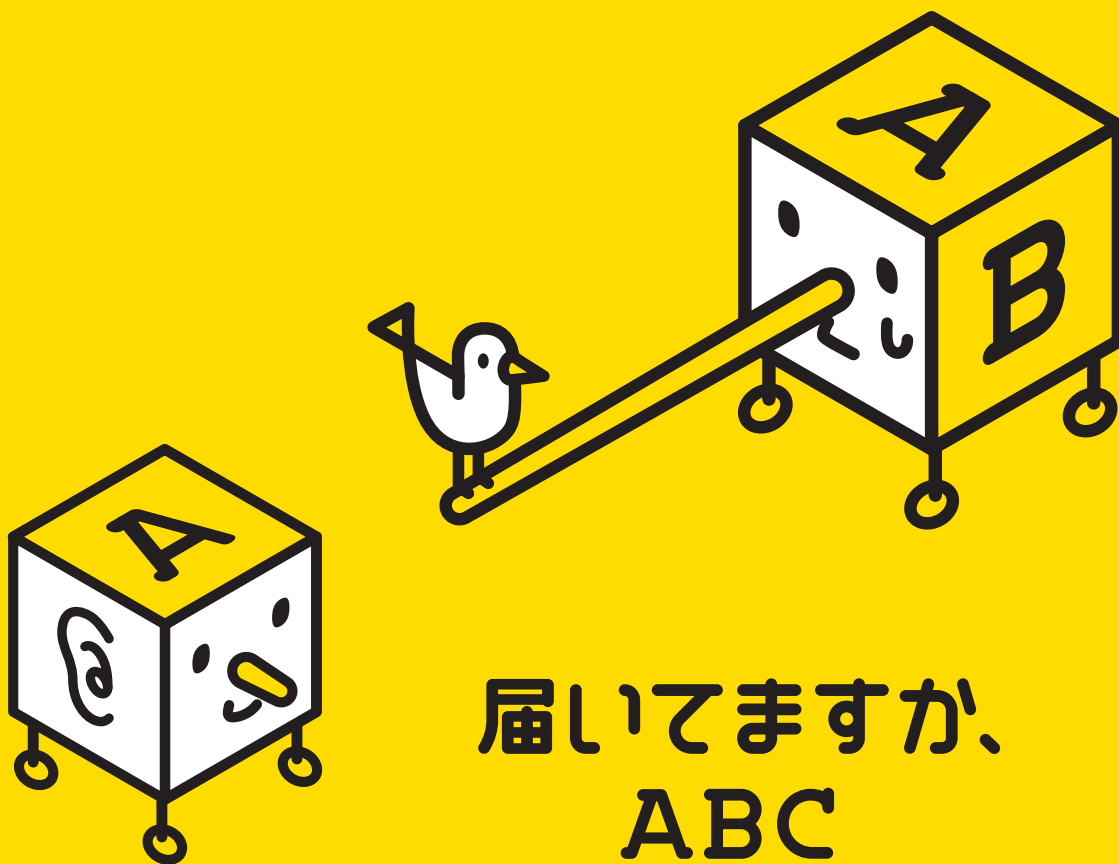


Asahi Broadcasting Corporation



届いてますが、
ABC

第81期 中間事業のご報告 平成19年4月1日～平成19年9月30日

朝日放送株式会社

証券コード：9405

INDEX

◆ごあいさつ	1
◆テレビ	3
◆ラジオ	4
◆その他事業	5

◆個別財務諸表	7
◆連結財務諸表(要約)	9
◆会社データ	10





代表取締役社長

西村 嘉郎

株主の皆様方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第81期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日)の事業報告がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

当中間期の日本経済は、企業収益の改善や設備投資の増加など企業部門を主体とした緩やかな景気回復が続きましたが、個人消費の拡大には至らず、家計部門での景気回復は足踏み状態が続きました。また記録的な原油価格の上昇や欧米の株価下落の影響で、景気の先行きは不透明なものとなりました。

当社のテレビ視聴率は、前期に比べて若干の減少となりましたが、全日帯・プライム2帯において引き続き2冠を達成し、ゴールデン帯、プライム帯では2位となりました。さらなる視聴率向上のためには、より視聴者の目線に立ち魅力あるソフトの開発が必要だと考えています。また、ラジオ聴取率では年間4回に調査方法が変わった2006年以来7回連続の全局首位を達成することができました。

このような状況のもと、当社では積極的な営業活動を展開しました。テレビ部門では主力であるテレビスポット収入が、大阪地区への投下が続く減少傾向にあるため、在阪広域4局中のシェアを26.1%としたものの前中間期に比べ1.1%の減少となりました。テレビタイム収入ではローカルタイムが好調な視聴率の追い風を受けて前中間期に比べ8%増と健闘しましたが、ナイター中継などネットタイムの減収を補うまでには至りませんでした。ラジオ部門では人気番組「おはようパーソナリティ道上洋三です」の30周年記念事業などが好調でした。

第3の収入の柱として注力しております放送外収入では、通販事業や著作権事業などのコンテンツ関連収入が前中間期に比べ113%の増収となりました。情報通販事業が前

朝日放送信条

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立つて、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一、広告は誇張を排し、清新な創意によって産業の発展を期する。

正しい報道 Accurate information

美しい表現 Beautiful expression

楽しい番組 Cheerful programs

中間期に比べ65%の大幅増となったほか、ライツ事業では商品化権など番組の2次利用が好調に推移し、前中間期の約2倍の収入となったことが要因です。この分野にはより一層積極的に取り組んでいく所存です。

当中間期の業績としましては、テレビ放送事業収益は325億1千8百万円(前中間期比1.5%減)、これにラジオ放送事業収益20億2千1百万円(前中間期比0.7%増)、その他の収益を加えた売上高合計は377億6千7百万円(前中間期比1.5%増)となりました。

売上原価に販売費及び一般管理費を加えた営業費用は、「必殺仕事人2007」などのテレビネット番組本数の増加や情報通販事業の売上拡大もあって増加し366億8千3百万円(前中間期比3.0%増)となりました。

以上の結果、営業利益は10億8千3百万円(前中間期比33.3%減)、経常利益は12億4千2百万円(前中間期比26.4%減)となりました。

また特別利益として貸倒引当金戻入益(2千9百万円)、特別損失として株式評価損(1千6百万円)を計上した結果、税引前中間純利益は12億5千6百万円となり、法人税・住民税・事業税および法人税等調整額を控除した当中間純利益は6億9千4百万円(前中間期比36.3%減)と

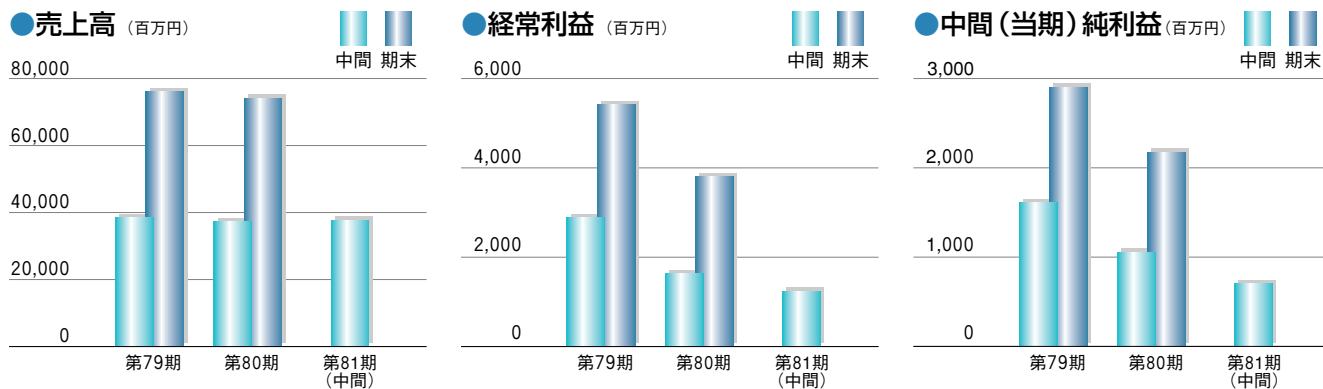
なり、当中間期の業績は前中間期に比べ増収、減益となりました。

さて、当中間期から住宅展示場「ABCハウジング」を展開しておりますエー・ビー・シー開発(株)を連結子会社といたしました。今後、広告代理業や物販などでも当社グループとのシナジー効果を期待しております。

また、この機会に当社グループの結束力を強化し、グループでの収益性を向上させていきたいと考え、「グループ戦略」を新たに策定いたしました。昨今話題となっております企業倫理についてもグループ全体として対応し、さらに徹底をはかっていく所存です。

おかげさまで新社屋建設も順調に進んでおり、2008年1月中旬に建物の引き渡しを受ける予定です。同時に進めてまいりました組織・制度・意識など諸々の改革も徐々にその効果を発揮してまいりました。当社は改革の歩みを止めることなく、より一層の株主価値向上にむけて事業の再構築を果敢に進めてまいります。株主の皆様には、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月





毎週月～金曜 午後3時49分



●上期全日帯平均で2年連続首位を獲得

朝・夕・23時台のABC制作3ベルト番組や、プライム帯(19時～23時)のABC発ネット3番組など自社制作番組の強化継続をし、当上期も非常に安定した支持を得ました。この結果、全日帯(6時～24時)の時間帯では、在阪各局において上期では昨年に続いて2年連続の首位となりました。上期の平均視聴率は朝帯「おはよう朝日です」11.7%、夕方帯「ムーブ!」6.9%、23時台は月～木曜「ナイトinナイト」12.0%、金曜「探偵!ナイトスクープ」21.0%で、いずれも前年度に続いて堅調に推移しています。



毎週金曜 午後11時17分

探偵!ナイトスクープ
night scoop

プライム2帯(23時～25時)では、2003年上期以降9期連続で首位を堅持しています。営業的に、全日帯とプライム2帯の視聴率はタイム・スポットの売上に大きく影響しており、当社はこの時間帯において、在阪各局の中で圧倒的優位を保っています。

プライム帯(19時～23時)では、昨年4月編成でスタートした金曜21時台のABC・テレビ朝日共同制作ドラマ枠で7月クールに「女帝」を放送、最終回視聴率は20.5%、全10話平均視聴率は17.0%で、いずれも同ドラマ枠の最高を記録し、関西地区各局7月クール連続ドラマの1位をも獲得する快挙を果たしています。



「女帝」

単発ドラマでは往年の人気ドラマシリーズで15年ぶりの復活となった「スペシャルドラマ・必殺仕事人2007」を7月7日に放送し、関西での視聴率は24.0%で、上期の各局全ドラマの中で1位を獲得する大きな盛り上がりを見せました。

コンクール関連では、2007年日本民間放送連盟賞の番組部門のテレビ教養で「人間の筏～広島・長崎、二重被爆者90歳の旅立ち～」が優秀賞を獲得しました。



「スペシャルドラマ・必殺仕事人2007」

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ

●V6達成で“ナンバー1ラジオ”宣言!

昨年から年間4回行なわれることになった関西圏ラジオ聴取率調査において、ABCラジオは今年6月までAM、FMを合わせた在阪局の中でV6を達成、しかも全放送時間帯平均の聴取率で他局に大差をつけての完勝でした。軸となる平日ワイド番組「宇野ひろみのおはようパートナー」「おはようパーソナリティ道上洋三です」「全力投球!!妹尾和夫です」「元気イチバン! 芦沢誠です」はいずれも引き続き好調です。また阪神タイガースの中継放送については今年も調査対象となった全試合で他局を上回る聴取率を上げています。

●ABCラジオのパワー

今年3月に30周年を迎えた「おはようパーソナリティ道上洋三です」で、記念のソーラー腕時計を製作して販売したところ、1個39,900円という価格にもかかわらず、およそ6,700個を売上げました。さらに番組では9月26日に記念CDアルバムを発売し、こちらも好調な売行きとなっています。

このほか、ABCラジオは「ナイスミドル音楽祭」「中之島音楽特区」「なにわJAZZ NIGHT」といったイベントを数多く開催することで、聴取者の皆様にエンターテインメントを提供すると同時に新たなセールスツールとしての展開も行なってきました。

こうした活気あるソフトの状況と営業活動における様々な努力の結果、スポット広告セールスについてはラジオ各局が苦戦している中、当社においては前中間期比100%の売上げをクリアすることができました。

コンクール関連では、2007年日本民間放送連盟賞の番組部門のラジオエンターテインメントで「笑福亭銀瓶 ドリーム・オブ・マイライフ」が優秀賞を受賞しました。



毎週月～金曜 午前9時



毎週月～金曜 午後3時30分



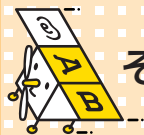
30周年記念アルバム
「新しい朝/道上洋三」

全国のCDショップで
お買い求め頂けます!

価格: 3,000円 (税込)
発売: アップフロントワークス
販売: キングレコード
レコード番号: PKCP-2029

ABC radio

1008 kHz



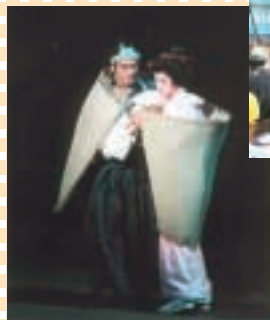
その他事業



シェイクスピア喜劇
「恋の骨折り損」



ロックフェスティバル
「SUMMER SONIC 07」



「蝉しぐれ」



毎週月～水曜 午前10時53分
「評判!なかむら屋」

● イベント事業

事業イベントでは、4月に蜷川幸雄演出によるシェイクスピア喜劇「恋の骨折り損」を上演しました。男性だけで演じる恋物語は観客から大きな喝采を浴びました。6月には20世紀最高のスペイン戯曲と言われる「血の婚礼」を上演し、情熱的なダンスで観客を魅了しました。また8月にはブロードウェイの大ヒットミュージカル「ヘアスプレー」を上演し、本場ならではのパワフルなステージは会場を興奮の渦に巻き込みました。同じく8月には本年で7回目を迎えたロックの祭典「SUMMER SONIC 07」を開催しました。今年は会場を大阪南港から舞洲に移し、過去最高の8万人の聴衆が2日間にわたるフェスティバルを大いに楽しみました。この他、藤沢周平作品の初の完全舞台化「蝉しぐれ」を9月上演するなど数多くのイベントを主催しました。

● 情報通販事業

昨年4月に立ち上げたテレビショッピング番組「評判!なかむら屋」も2年目に入りました。情報番組としても楽しめるうえ、日々の生活を豊かにする職人のこだわりの一品などを中心に「ちょっといいもの」を幅広くご紹介しています。8月にはインターネットでも買い物いただけるようになりました。上期売上は3億5千9百万円と前中間期比65.2%増を達成、新たな収入の柱として確実に成長を続けています。

● ライツ事業

番組の二次利用では、金曜21時台に放送しているテレビ朝日との共同制作ドラマを順次DVD化しているほか、海外にも販売し放送しています。

また、ABCの歴史に残る番組「必殺シリーズ」、アニメ「プリキュア」シリーズの商品化による収入も引き続き好調です。

● デジタル事業

モバイル事業の主流が有料モデルから無料広告モデルに移行するなど事業全体が変革期を迎えるなか、ABCではテレビ、ラジオの各番組の属性に合ったコンテンツを供給しております。また10月からアニメの有料動画配信や着ウタサービスにも着手し、放送コンテンツの二次利用を拡充しています。



DVD「レガッタ」「わるいやつら」「生徒諸君!」

● ザ・シンフォニーホール

今秋10月に開館25周年を迎えたザ・シンフォニーホールでは、4月からの記念演奏会としてエディタ・グルベローヴァのソプラノ・リサイタルを開催したほか、クリストフ・フォン・ドホナーニ指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団とヴァイオリンの諏訪内晶子の演奏会や五嶋みどりとロバート・マクドナルドのデュオ・リサイタルなどを主催し好評を得ました。また毎年恒例の金聖響の指揮によるコンサート・シリーズは、今回オーケストラ・アンサンブル金沢とのコラボレーションでブラームス・チクルス4回公演を開催中です。他会場での事業では、6月にびわ湖ホールで初来日のイタリアの名門歌劇場「パレルモ・マッシモ劇場」の日本公演を開催し、満員のお客様にご満足いただきました。



指揮者 クリストフ・フォン・ドホナーニ



五嶋みどり



● 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期	科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在		平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	33,239	36,618	34,961	流動負債	12,060	10,479	9,684
現金及び預金	5,749	8,627	6,982	短期借入金	700	700	700
受取手形	812	847	758	未払金	7,211	5,576	5,993
売掛金	12,272	12,137	12,856	未払法人税等	557	42	—
有価証券	11,626	11,548	10,330	未払消費税等	230	146	81
番組勘定	697	918	1,291	未払費用	1,506	1,528	1,498
貯蔵品	50	33	44	前受金	371	361	374
短期貸付金	13	686	733	預り金	237	245	283
未収入金	899	759	877	役員賞与引当金	14	17	34
繰延税金資産	621	597	614	本社移転損失引当金	775	—	—
その他の流動資産	519	565	604	廃棄物処理損失引当金	36	—	62
貸倒引当金	△ 25	△ 101	△ 131	設備等支払手形	419	1,860	656
固定資産	47,878	43,439	44,962	固定負債	16,154	17,440	16,949
有形固定資産	27,600	20,616	23,802	長期借入金	5,000	5,000	5,000
建物	1,876	1,926	1,902	退職給付引当金	10,762	11,303	10,757
構築物	400	290	423	本社移転損失引当金	—	764	775
機械及び装置	4,355	4,958	4,724	廃棄物処理損失引当金	45	—	45
車両及び運搬具	70	67	61	預り保証金	173	173	173
工具器具及び備品	233	254	255	その他の固定負債	173	198	198
土地	5,541	4,526	5,540	負債合計	28,215	27,919	26,633
建設仮勘定	15,121	8,591	10,893	(純資産の部)			
無形固定資産	1,053	495	1,147	株主資本	51,412	50,005	50,906
施設利用権	48	52	50	資本金	5,299	5,299	5,299
ソフトウェア	1,004	443	1,097	資本剰余金	3,610	3,610	3,610
投資その他の資産	19,225	22,326	20,011	資本準備金	3,515	3,515	3,515
投資有価証券	10,701	13,999	12,152	その他資本剰余金	95	95	95
関係会社株式	1,432	1,062	1,152	利益剰余金	42,502	41,095	41,996
長期貸付金	1,376	1,800	1,577	利益準備金	450	450	450
長期前払費用	8	8	8	その他利益剰余金	42,052	40,645	41,546
繰延税金資産	4,944	4,740	4,375	固定資産圧縮積立金	105	—	105
その他の投資	845	910	859	別途積立金	39,400	38,400	38,400
貸倒引当金	△ 83	△ 195	△ 113	繰越利益剰余金	2,547	2,245	3,041
資産合計	81,118	80,057	79,923	自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
				評価・換算差額等	1,490	2,133	2,383
				その他有価証券評価差額金	1,490	2,133	2,383
				純資産合計	52,902	52,138	53,289
				負債及び純資産合計	81,118	80,057	79,923

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

● 中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	37,767	37,225	74,192
売上原価	24,208	23,067	45,362
売上総利益	13,559	14,158	28,829
販売費及び一般管理費	12,475	12,534	25,129
営業利益	1,083	1,624	3,700
営業外収益	201	173	273
営業外費用	42	110	171
経常利益	1,242	1,687	3,803
特別利益	29	222	436
特別損失	16	5	403
税引前中間(当期)純利益	1,256	1,904	3,835
法人税、住民税及び事業税	528	6	671
法人税等調整額	34	808	985
中間(当期)純利益	694	1,090	2,179

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

剰余金の配当に関する事項

		当 期	前 期
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 45円	普通配当 45円
	期 末	普通配当 45円(予想)	普通配当 45円
	年 間	90円(予想)	90円

● 中間株主資本等変動計算書

当中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合 計			
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金				自 株	己 式	株 資 合		主 本 計	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額	評 価 ・ 換 算 差 額 合 計
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計		固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計							
平成19年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	38,400	3,041	41,996	△0	50,906	2,383	2,383	53,289		
中間会計期間中の変動額																
別途積立金の積立							1,000	△1,000	—		—			—		
剰余金の配当								△188	△188		△188			△188		
中間純利益								694	694		694			694		
自己株式の取得										△0	△0			△0		
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)													△892	△892	△892	
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	1,000	△494	505	△0	505	△892	△892	△386		
平成19年9月30日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	39,400	2,547	42,502	△0	51,412	1,490	1,490	52,902		

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。



● 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
資産の部			
流動資産	37,505	37,885	36,224
固定資産	60,195	51,812	53,408
有形固定資産	38,582	29,934	33,078
無形固定資産	1,089	517	1,167
投資その他の資産	20,524	21,360	19,162
資産合計	97,701	89,698	89,633
負債の部			
流動負債	14,355	10,628	9,875
固定負債	27,055	25,374	24,769
負債合計	41,411	36,003	34,644
純資産の部			
株主資本	52,464	50,355	51,336
資本金	5,299	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610	3,610
利益剰余金	43,555	41,446	42,427
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	1,487	2,132	2,382
その他有価証券評価差額金	1,487	2,132	2,382
少数株主持分	2,338	1,206	1,268
純資産合計	56,290	53,694	54,988
負債及び純資産合計	97,701	89,698	89,633

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数	4社	持分法適用関連会社数	1社
(株)イー・ピー・シーメディアコム		(株)スカイ・エー	
(株)イー・ピー・シーリブラ			
イー・ピー・シー開発(株)			
(株)ABCゴルフ倶楽部			

● 中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	5,299	3,610	42,427	△0	51,336	2,382	2,382	1,268	54,988
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△188		△188				△188
新規連結に伴う増加			249		249				249
中間純利益			1,066		1,066				1,066
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)						△895	△895	1,069	174
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,128	△0	1,127	△895	△895	1,069	1,302
平成19年9月30日残高	5,299	3,610	43,555	△0	52,464	1,487	1,487	2,338	56,290

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

● 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
売上高	42,998	37,986	75,787
売上原価	28,250	23,636	46,634
売上総利益	14,747	14,349	29,153
販売費及び一般管理費	12,990	12,695	25,340
営業利益	1,757	1,654	3,812
営業外収益	315	184	312
営業外費用	53	47	95
経常利益	2,019	1,790	4,029
特別利益	—	211	400
特別損失	59	5	407
税金等調整前中間(当期)純利益	1,959	1,997	4,022
法人税、住民税及び事業税	746	35	743
法人税等調整額	29	834	980
少数株主利益	117	1	4
中間(当期)純利益	1,066	1,125	2,295

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,021	2,728	3,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	603	△ 297	△ 1,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 100	△ 44	△ 232
現金及び現金同等物の増減額	5,524	2,386	1,812
現金及び現金同等物の期首残高	11,922	10,109	10,109
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	17,447	12,495	11,922

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。



会社の概況

(平成19年9月30日現在)

会社名 朝日放送株式会社
Asahi Broadcasting Corporation

創立 昭和26年3月15日

資本金 52億9,980万円

従業員数 657名

事業内容 放送法および有線放送法による
一般放送事業 他

本社 〒531-8501 大阪市北区大淀南二丁目2番48号
Tel. (06) 6458-5321 (代表)

役員

(平成19年9月30日現在)

代表取締役社長	西村 嘉郎	取締役	坂井 信也
代表取締役副社長	渡辺 克信	取締役	冲永 荘一
専務取締役	橋本 安弘	取締役	松尾 好章
専務取締役	北畠 宏泰	取締役	水野 文英
常務取締役	和田 省一	取締役	古川 賢三
常務取締役	木下 栄一	取締役	菊地 誠一
常務取締役	脇阪 聰史	常勤監査役	西村真一郎
取締役	領木新一郎	監査役	村井 守
取締役	脇 英太郎	監査役	白賀 洋平
取締役	池内 文雄	監査役	黒石 輯
取締役	君和田正夫	監査役	橋本 宗利
取締役	山口 昌紀		

株式の概況

(平成19年9月30日現在)

●発行可能株式総数 14,400,000株

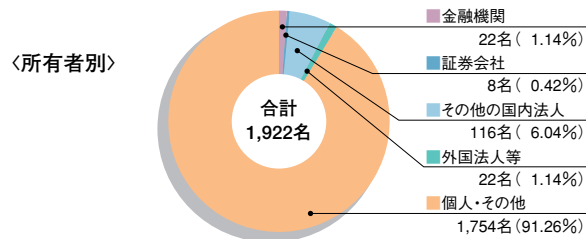
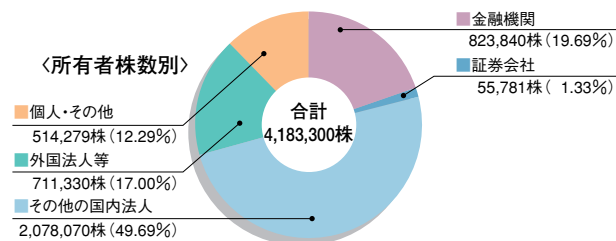
●発行済株式総数 4,183,300株

●株主数 1,922名

●大株主

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	592,490 株	14.2%
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	539,480	12.9
株式会社テレビ朝日	387,760	9.3
朝日新聞信用組合	180,000	4.3
学校法人帝京大学	155,400	3.7
村山 美知子	145,500	3.5
日本生命保険相互会社	125,650	3.0
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	101,560	2.4
大阪瓦斯株式会社	85,500	2.0
近鉄バス株式会社	80,000	1.9

株式分布状況



当社のホームページもご覧ください。

<http://asahi.co.jp>



◆株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載する。 〈 http://asahi.co.jp 〉

朝日放送株式会社

〒531-8501 大阪市北区大淀南二丁目2番48号
 TEL 06-6458-5321(代表)